

2000年に生きた証を  
仁王門大修理



阿波三峰

親子の鐘の中津峰

# 朝念暮念

2000年記念事業仁王門大修理

ご寄付ありがとうございました。

バス便、12/17 1/3 1/18 9:30アミコ前発

問い合わせい合わせ：徳島市バス観光課 088-652-2133

## 中津峰山如意輪寺

徳島市多家良町中津峰  
TEL088-645-0008 FAX645-0508  
http://www.rmt.ne.jp/~nyoirin  
nyoirin@rmt.ne.jp

## 仁王門落慶盛大に

当山二千年記念事業、仁王門移築修復大修理は既にご案内のとおり十一月二十三日、百味供養会に併せて執り行い盛会裡に終えることができました。ひとえに信者の皆様方のご高庇のたまものと感謝申し上げます。

法会は九時仁王門に結衆寺院、斎藤奉賛会長、総代さん、宮前建設社長、宮前稔さん、竹内秀雄棟梁、都造園等工事関係の皆さん一般の参詣の方々多数にご参加いただき、まず仁王尊並びに仁王門が開眼供養、続いてテープカットをして仁王門の通り初めと続いた。因みにテープカットは殺生を嫌う佛教で、切ることが本来はしない行事であります。

十時より、庭儀、法要付大般若経転読、仁王門以下修理をした諸々のお堂鎮座のため庭儀を行って供

## リセット

昨今の社会現象に自分の責任でないのに「悪者」になってしまふことがある。その第一が官僚である。正月明けたら省庁の再編成がある。省庁再編の目的は官僚主導から政治主導への変革という。言い換

係長。そのクラスの官僚が最も鍛えられる。定刻五時がすんでからが仕事という。最終電車まで仕事しやつと帰れる。場合によっては泊まり込みもあるという。予算編成期の大蔵省はホテルオオクラ(大蔵省に泊まり込むこと)が一般的な例だ。そうして官僚の生涯カリキュラムによって、日本国家のための仕事に身を投じている。それを政治家が主導するというのが、優れた政治家即ち選挙に強い政治家ではない。例えば政界きつての頭脳は与謝野元衆議委員議員であつたという。彼だと官僚がかなわなかつた。だが、先般落選した。逆に選挙だけ強い議員もいる。政治家は当選回数が多いのだからそれでも大臣が回ってくる。私たち庶民は政治家が悪いと思つて居るが、昨今は政治が善くて官僚が悪いというパターンである。ただし、徳島県選出の議員の若手議員にかぎると代議士になるまで、それほどでもなかつたのに国会に進んですばらしく成長した。本当に勉強しようと思つたら中央で一流に講師団から勉強できる証だ。

「そこ」の水島元会長以下の経営陣などは超悪の代表だ。我々の周辺を振り返つてみて時代、周囲の変化、技術革新によって、自分の責任とはいえないのに悪役の憂き目にあつ、この種の「悪者」の例は多い。昔は本人に責任があればそれなりのけじめをつけるのがあたりまえだつた。また、周囲の責任を一身に集めて責任をとるといふも枚挙にいとまない。こういった場合の責任の取り方は襍ぎ、懺悔にはじまり切腹というものである。

新世紀を観音様と迎えよう

## 如意輪観音様と厄除け

密教では、大きな災い(厄)は、太陽や月、北斗七星等の星々に影響されていると考えられています。お大師様が請来した曼荼羅にも九曜(七曜・九曜)、眷属神、二十八宿星神、十二宮星神等が描かれています。

これらの星宿のお奉りする秘法や国や家を護り、人々の平安無事を祈ってきました。特に、北極星を祀り北斗星に延命長寿を祈る「北斗法」や北斗七星を祀り天変を鎮める「七星如意輪法」等は、北斗七星は如意輪観音様の眷属(家来)とされ、古来から災い除け(厄除)に効く観音様とされてきました。

厄除けの元祖は、河内の観心寺の如意輪観音様と境内のそれぞれの星塚を供養してまわったことであるとされています。当山にも九曜と二十八宿と地神をあわせた三十八社がまつられています。

## 一月の行事

- 1日～3日 新春御開帳
- 18日 10:00～ 大般若転読法会 (17～19日 初会式)

# 服喪

今年も「喪中につき、云々」のがきが届く季節になった。十三ヶ月の喪の期間がのこっているのは年賀状だけ。四国まんだら霊場の見解では四十九日(神道では五十日祭)の中陰が満れば服喪期間はあけるとしている。

服喪というのはどこにはじまったのだろうか。現在服喪を問い合わせるのに神社関係に問いあわせる人がおおい。まんだら霊場の見解も神社側から発信した

## 一冊の本 『君ならでできる』 小出義雄著

幻冬社 一四〇〇円

少々古くなったが、シドニーオリンピック金メダリスト高橋尚子のコーチの本である。競走馬の場合、調教師がよいのか馬がよいのか。とりわけ調教師の存在が大きい、どのような名品種サラブレッドでも調教師がいないと駄馬になる。名血統の馬を名調教師が育ててはじめてダービー馬になる。

人間はどうか。馬のように走ることに關しての系統を証明するものはない。名調教師はまず、体つき、走りぶりからサラブレッドか駄馬かを見分ける目が第一だ。次に人間は馬にない感

ものだ。なら、神道に由来するのか。なるほど忌といふのは神道独自かも知れない。明治なん何年かの太政官布告によると親など上に

対し長く、子供など下には短い。これから中国の儒教思想によるのかと思った。インドで白いサリーを着た女性がいる。服喪中という、何年か聞くと一生ともいう。平成二年ネパールでガイド、リジナルくんが頭は丸刈りでグレイのセーターというスタイル、聞けば「母親が亡くなったので

一年間坊主頭で白いものしか着られない。グレイは白の汚れたものとして許される」とのことだった。一昨年再びネパールで多くのガイドがいるだろうのにまたリジナルにあたった。実は名前を忘れていたこともあって「君は十年ほど前、父親を亡くさなかつたね」と問うた。「いや母です。どうして知っているのですか」「そのときグレイ一色だったね」「思い出しました」と相成った。思い出すだけの印象深い峠の茶

会があつたのである。それから服喪のついて話してもらうと、ネパールでは長男は一年間かみそりで頭を剃り色物は着られない、たまたまバスの運転手がそうであつたので具体的に教えてもらった。要はインド文化圏は今でも厳格に服喪があるとアジア全体にある風俗ではないだろうかと思うに至っている。

日本では太政官布告の忌服令によつてはいるが、現代にはあわない。結果私どものような解釈をしている。それだと先のはがきも同様となつて良いのではな

いか? そのなか、東京のYさんから「母は一九〇一に生まれ、二〇〇〇年の今年百歳をもつて天寿全うしました。二十世紀すべて生きたことになりました」という趣旨のはがきをいただき感動した。

## 太尾茂樹さん逝く

平成七年まで十年余り当山執事をしていただいた、太尾茂樹さんが十一月二十九日、逝去されました。氏は大正十四年十一月十七日徳島市飯谷町日浦に生まれ。食料営団、勝浦食料卸協同組合、徳島県食料卸協同組合に四十数年奉職し、戦後日本人の主食を司る仕

事に第一の生涯を一筋に全うした。県下の各食料卸協同組合が徳島県食料卸協同組合として合併、小松島支店長として定年まで俊敏な腕を振う。

第二の人生は昭和六十年定年退職の翌年、縁あつて当山執事として十余年、朝の掃除にはじまり、事務等々の雑用をこなし、特筆すべきは優しいほほえみを持つての信者皆様と接し、多くの安心を与えた。自らの信仰と大衆への奉仕、まさに菩提心の実践といえよう。居士というは出家せず、佛道を実践したのをいう、まさに氏は居士に値する。

その間、平成元年には百味供養会百周年記念事業を平成五年には大黒天奉祀二百周年事業には事務局長として住職をよくたすけ推進せられ、成功に導き、当山の輪奐の美を一新するに至つた。また、毎年の高野山団体参拝に氏のお世話は大い。募集、コース組み、おやつ飲み物の調達、とりわけ細かいバスでの送り迎えは氏でないとできない。平成六年頃より四大に不調の徴し、何度もの入院を繰り返しながら、当山行事の時々にはお手伝いいただいていた。今回の仁王門修復も「空中遊泳」を見たかつたのだが、入院と重なり残念がつていた。落慶法

会の投げ餅用、餅米を相談したところ、そのときまで寝たままだつたのが、ベッドに坐し電話してくれ、了つて歩いて用便に行く元氣を取りもどしたものだ。仁王門落慶法会が心配だつたのか、二十五日に報告に行くことこのほか喜んでいただいた。そうして、私どもの残務整理が一段落するのを待つていたかのよううに二十九日九時五十分家族等の手厚い看護の甲斐なく、幽明境を異にした。法の名、寶閣院茂山眞賢居士心からご冥福をお祈りします。

## 仁王門御尊像大修理 奉納者芳名 (敬称略)

- 鴨島町 岸田雄亮
- 十口 台湾 杉本良
- 十口 文六町 青野美和子
- 五口 岐阜県 後藤 立女
- 三口 多家良町 田中 務
- 三口 小松島市 田村サトミ
- 三口 小松島市 森 寿満子
- 三口 多家良町 井澤ナミエ
- 三口 津田本町 村岡 肇
- 三口 香川県 高橋義典
- 弘美
- 二口 八多町 清水猛
- 二口 城東町 高橋照夫
- 三口 三口
- 一口 八多町 片山 寛昭
- 一口 阿南市 松島正次
- 一口 多家良町 中川孝夫
- 一口 小松島市 谷 治二
- 一口 飯谷町 山上茂
- 一口 八多町 吉本哲夫
- 御寄進ありかつ
- ごさいました